

公益社団法人 いいがた被害者支援センター

支援センターだより

2017年3月 第21号



“性暴力被害者支援センターにいがた” 設立に寄せて

理事長 川上 耕

いいがた被害者支援センターは、平成18年2月のボランティア団体の発足から数えると11年、23年3月の犯罪被害人等早期援助団体の指定を受けてから6年を迎えようとしています。今日まで被害者支援の活動を行なうことができてきていることは、新潟県および警察本部と市町村や関係機関・団体、また役員・会員・寄附者など多くの皆様のご支援の賜であり、そして第一線で支援活動を行い、事務処理をしていただいたスタッフのおかげであり、みなさまに深く感謝申し上げる次第です。

しかし、まだまだ当センターの存在が知られておらず、その広報が大きな課題となっており、また、現在、午前10時から午後4時となっている支援窓口の時間帯を延長することも課題の一つです。それらの実現には、財政基盤の充実および担当スタッフの増員が必要とされています。

さて、当センターでは、昨年12月1日、新潟県の委託を受けて「性暴力被害者支援センターにいがた」の活動を開始しました。強姦や強制猥褻などの性犯罪、あるいは犯罪にはならなくても被害者の意思を踏みに

じった性的行為による被害者に特化した支援をいたします。こうした被害者は、誰にも被害を言うことができず一人で悩む人が大半で、警察に届け出ることでもできず、ふさぎこんでしまい、PTSDになり被害が長い期間続くという大変大きな問題です。こうした人たちが相談しやすく、かつ医療機関や警察や弁護士会・臨床心理士会などとの緊密な連携をして医療・臨床心理、法律その他様々な支援をいたします。相談活動は支援に必要な様々な研修を受けた女性31人が担当しています。（男性の被害者には男性の相談員が対応します。）そして、ケースによっては息の長い支援、あるいは、被害者のその後の人生の立ち直りにつなげていくような支援も必要とされ、そうした支援活動をしている様々な機関との連携をしていきたいと考えています。

当センターは、これからも被害者に寄り添い、必要とされる支援を行ない、関係機関と連携して被害者支援を充実させていきたいと存じます。それは皆様のご支援・ご協力なしには実現できません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

研修を積んだ相談員が対応します。

相談電話

新潟地区 ☎ 025-281-7870

中越地区 ☎ 0258-32-7016

上越地区 ☎ 025-522-3133

- 相談日 月～金
(祝日・年末年始は除く)
- 相談時間10時～16時

面接相談
予約が必要

直接支援

秘密厳守・相談支援無料



“性暴力被害者支援センターにいがた” が平成28年12月1日に開設されました

新潟県より運營業務の委託を受け、にいがた被害者支援センターを中心に新潟県をはじめ県警察本部、県産婦人科医会、県弁護士会、県臨床心理士会等関係機関団体が連携し、被害直後から中長期にわたって、被害者の心身の負担を軽減し、その健康を回復するための総合的（専門の研修を修了し相談業務を委嘱された女性相談員29名が電話相談、面接相談、病院の付き添い等直接的支援）な支援を行います。



性暴力被害者支援センターにいがた開設式



委嘱状交付

相談電話 025-281-1020

相談日・受付時間 月曜～金曜 10:00～16:00 (祝日・年末年始は除きます)

①電話相談

性暴力についての相談をお受けします。あなたの気持ちに寄り添いながら、どうしたら良いかを一緒に考えてまいります。相談内容が漏れることはありません。



②面接相談

直接お話を伺い、どんな選択肢があるか考えます。ご希望に応じて必要な支援におつなぎします。(病院、警察、弁護士、カウンセリング等)



③付添支援

一人で心細いとき、病院、警察、弁護士等、関係機関へ私たちが付き添います。はじめてのことで、不安があっても、相談員が同席することで安心して関係機関の支援を受けて頂くことが出来ます。



性暴力とは同意のない対等でない「脅しや強制力を用いて行われる、意思に反した、もしくは、同意のない強要された性的な行為すべてを言う」とWHOでは定義されています。

あなたの望まない性的な行為はすべて性暴力であり、著しい人権侵害であり犯罪行為です。また、パートナーとの意にそわない性的行為や性的虐待なども含まれます。

性暴力を受けると、あなたの「からだ」や「こころ」に大きな痛手となり、時間が経っても恐怖や不安で混乱した状態になります。

思い当たったら、一人で抱えず相談してください。勇気を出してダイヤルして下さい。秘密は固く守ります。あなたは悪くありません。一人で悩まず話してみませんか？あなたの勇気を待っています。





犯罪被害者支援フォーラム 2016inにいがた

11/26/2016

期日 平成28年11月26日（土）
場所 新潟市民プラザ 新潟市中央区西堀通6-866 NXT21ビル6階

第1部 講演 性暴力被害について一緒に考えてみませんか？

おおよぶ のぶこ
大藪 順子氏 講演 要旨

演題 「立ち上がる選択～被害者にも加害者にもさせない為に～」



大藪氏は1999年にアメリカの新聞社で働いていた当時、夜中に自宅に侵入してきた男からレイプ被害に遭った。警察に連れていかれた救急病院で刑事と一緒に来たレイプクライシスセンターの女性に『あなたのせいじゃない』といわれた。「当時は、逆切れしたが、あの言葉を頭でなく心でわかるまでに時間がかかった」という。その後、ある教会の牧師に出会い被害体験を話した所、『そういう体験があるからこそピター（怒りや憎しみを抱えて生きること）にもなれるし、ベター（より良く生きること）にもなれる。君には選択枠がある。』といわれ、考えた末加害者への手紙を出した。「あの手紙で憎しみ、怒りを手放すことが出来たと思う。投函後気持ちが楽になった。事件で変わってしまった自分を恥と思わず自分の「普通」で生きていくことが、サバイバーのエンパワメントにもつながる。そのためにも、暴力は加害者の意思で起こるのであり、被害者の意思では起こり得ないことを理解し、被害者の生きやすい社会づくりが必要。」と語られた。

約70人の被害者の取材を通して、「『あなたのせいではない』という言葉を知っているかいないかで被害後の人生が大きく変わることを知ったが、その言葉が独り歩きしてはいけない。状況を見極めて、語るべき時に語ることが重要。」と強調された。

第2部 新潟県警音楽隊&カラーガードによるコンサート

新潟県警音楽隊演奏



支援・広報活動状況 自助グループ活動パネル展



広報活動

平成 28 年度「犯罪被害者週間」協賛キャンペーン

11月19日（土）県警本部、鉄道警察隊、当センター総勢20数名で新潟駅構内（万代口、新幹線乗り場通路）において広報活動を実施しました。



イベント会場での広報活動



交通事故被害者 遺族の思い

「交通事故の二次被害・三次被害」

50代女性

平成25年5月17日に、交通事故で、父が亡くなりました。まさか自分が被害者の遺族になってしまうなんて思いませんでした。

私達は普通に生活していたのに、父が亡くなってしまうと生活のリズムが狂ってしまいました。

被害者の遺族が、こんなに苦しいものとは思っていませんでした。自分は表面上では、理解していたつもりでした。しかし、実際にその立場になると、本当に苦しく、辛いことばかりでした。

『交通事故で亡くなる＝保険金がたくさん入ってくる』みたいな嫌みを言われたり、職場の人には、『保険金が入ってくるから、働く気がなくなっているんだ。』と言われたりして悔しい思いを沢山しました。親戚、姉妹、娘などからいろいろ言われました。だんだん私の精神面が悪くなっていきました。娘が回りの人に、『お母さんは頭が狂った。』と言っていると聞かされました。

妹にも、『姉さんだけ、保険金をいっぱい取った。』と言われました。私が1人暮らしを始めたころ、親戚に、『お前には援助なんてできないんだからな』などと言われました。

保険会社との交渉は弁護士の先生に相談しながら私と三女の妹でやってきました。その状態を続けていく生活が続き、しだいに集中して物事が出来なくなり、無気力になり、ますます私の精神状態は悪化していきました。

加害者は刑事裁判を受けず、略式裁判で『罰金70万、免許証取り消し1年』でしかなく、とても悔しい思いをしました。その後、民事裁判を起しましたが、過失割合の争いになり、民事裁判をしたことに対して、『お金を取ることにしか考えてない。』等と、いわれの無い非難を受けました。



私はただ、最後の親孝行のつもりでやってきただけなのに……

とうとう私は、精神障害者2級になってしまいました。

事故後は二次被害、三次被害と続いて、次女家族と絶縁、父と私と娘の三人で暮らしていましたが、一家離散になりました。今、私は一人暮らしです。PTSDになった私は、親戚、次女家族、娘、知らない赤の他人に病気を理解してもらえず、『心が弱い人間』、『情けない人間』と言われていました。

心の傷はまだまだ治りません。少しずつ前に進みたいと思っはいますが……

3年経った今、加害者はどういう生活をしているのだろうと考えることがあります。知る術はありません。

道路交通法は納得がいけないことも多く、悔しい思いをいっぱい味わいました。

だからこそ！

自分が加害者にならないよう努力をして行きたいと思います。

(自助グループ手記「天国にいるあなたへ」)

第4集より再掲)

交通事故がもたらす被害は多種多様です。二次被害は他人から受けることが多いですが、家族・親族内での対立による傷つきが「二次(三次)被害」になる方もおられます。中には家族関係が大きく損なわれる場合もあります。

親子や兄弟でもあっても、被害の受け止め方や感じ方は違うということに気づかされます。

センター支援員 H.S

協力者御芳名 (平成28年4月1日から28年12月31日までの各会費及び寄付を頂いた方を掲載させていただきました。 順不同・敬称略)



正会員名簿

・団体正会員

新潟県精神科病院協会、(公財)新潟県交通安全協会、新潟県弁護士会、(一社)新潟県医師会、関東信越税理士会新潟県支部連合会、新潟県精神保健福祉協会、新潟県町村会、新潟県市長会、学校法人新潟青陵学園

・個人正会員

藤巻強生、高橋由美子、荻野佳美、大木満子、栗山 啓、江花里都、野上 博、甲野勝機、小林ひとみ、宇田 正、遠藤和成、中曽根えり子、山後晴雄、藤田正行、小濱恵子、渡辺 豊、渡部直子、小島 功、津野恒子、二木 宏、青山勝二、落合光雄、貝瀬尚久、島 典子、橋 玲子、運上司子、金子英明、饒村悠子、川上 克、平尾公子、川上 耕、瀧沢尚以、太田信子、高野義雄、稲餅武雄、伊藤末松、星野理香、北山桂子、井口善雄、大島照美子、本間サチ子

団体賛助会員



アドリテム司法書士法人、(株)赤川組、(株)阿賀・グローバル、岩渕浩法律事務所、大浦整形外科医院、沖歯科工業(株)、柏崎刈羽地区保護司会、空手道クラブ空美会、柏崎地区交通安全協会、木田町内会、県央加工協同組合、医療法人社団 敬成会、(株)ココナ、特別養護老人ホーム にいだの里、小林石油(株)、五泉市東蒲原郡医師会、三条市医師会、(有)サンケイ新潟企画、新発田ガス(株)、自動車安全運転センター新潟県事務所、砂田徹也法律事務所、セコム上信越(株)、(株)全研ビルサービス、(株)ソーゴ、(株)タカード、ダイセー歯科クリニック、(株)たいよう共済新潟支店、谷澤整形外科クリニック、大広運輸(株)、(株)燕タクシー、外山産業(株)、(株)トーア、(株)東光クリエート、(株)トスネット上信越、十日町地区交通安全協会、ナミックス(株)、(株)新潟食品運輸、新潟県警備業協会、新潟県建設業協会(与板支部)、新潟県警友会連合会、新潟総合警備保障(株)、新潟県司法書士会、新潟県民共済生活協同組合、新潟県指定自動車教習所協会、新潟県自動車練習所、(株)新潟中央自動車学校、新潟県安全運転管理者協会、新潟県解体工事業協会中越支部、新潟県自動車販売店協会、新潟市医師会、新潟県歯科医師会、新潟県商工会議所連合会、新潟県暴力追放運動推進センター、新潟信用金庫、新潟県遊技業協同組合、新潟県自動車整備振興会、新潟万代ロータリークラブ、ネットヨタ越後(株)、根津歯科医院、(株)萩田換地、(株)VIP、ヴィームスタジアム(株)、(株)古田組、藤巻町内会、(株)双葉印刷、(株)福田組、北越警備保障(株)、真心福祉会、マルソー(株)、松崎歯科医院、(株)三原田組、見附市南蒲原郡医師会、三島病院、碧建設(株)、村上市岩船郡医師会、学校法人明倫学園、やかた歯科医院、(株)渡大組、(株)ワールドライン

個人賛助会員



青木和司、青柳芳郎、阿部政志、安藤 烈、安藤栄子、相澤いづみ、浅田幸子、阿坐上光男、石田恵子、井伊 務、五十嵐喜一、稲餅三重子、今田芳明、稲田秀樹、五十嵐久、伊藤基子、池田正友、石川伊作、和泉澤貞子、石塚誠一、今井千恵子、今城清司、石原 護、板垣 隆、猪股良二、池田賢二、岩井淳治、歌川享一、池田信吾、辯護士氏家信彦、遠藤記恵子、江森謙太郎、大滝明日香、小野 栄、大島澄道、大矢 傑、小田島美智子、大川 聡、沖野節子、押見清雄、大倉憲吾、音田裕司、大平泰三、小幡政行、小熊 力、大島昌枝、小川花奈、大野達彦、風間康則、金子和子、金子 優、金井くみ子、加地正樹、風間由由、貝瀬松美、木村真悟、岸本正智、鬼島基伸、串田重男、栗山英雄・祥子、工藤和雄、久我正作、恵 盛良、小山高司、小林澄夫、近藤正明、弁護士後藤直樹、辯護士小村 隆、小林澄江、小山晴代、香田一男、小池進吾、小嶋謙一、神立秀明、小松紀子、児玉省二、小林則幸、坂本かおる、坂井秀弥、齋藤謙三、斎藤洋子、佐藤幸示、酒井正昭、佐野 實、佐川和夫、斎藤敏子、弁護士櫻井英喜、嵯峨トシ、佐原葛一、櫻井春夫、澤村陽一、斎藤長一、桜井正二、嶋田啓介、十二勝・幸子、塩谷 洋、弁護士鈴木 俊、諏佐恭一、須貝恵吉、関 洋一、瀬藤 純、相馬清吉、田村千秋、高橋 勝、田下厚子、田中克幸、高橋節子、田村いづみ、田中 稔、高岡光夫、高橋玲子、武村真理、竹内邦彦、高野雅史・優子、弁護士高橋 勝、滝本友子、高橋高一、鶴巻信朗、土屋貴司、築井一琢、藤間春夫、中村光春、弁護士中澤泰二郎、中野宏子、中村俊光、中野 誠、永倉 税、中倉一浩、西山 正、西脇和子、庭野カツ、二平正司、庭野トシエ、根津明子、野口祐郁、野上信子、野上 正、野澤 修、野村和子、半戸哲夫、

こども医院はしもと橋本謹也、辯護士長谷川進、長谷川虹兒、灰野 博、林 隆行、廣川 明、廣島 高、平澤敏夫、藤沢直子、福原浩次、藤崎藤作、堀川誠一、本間武志、細野紀雄、本田恭子、本間 満、前山憲三、丸山千賀子、松原正文、三上剛明、宮崎正夫、皆川和秀、水岡裕子、水莖芳英、水野俊一、南 安美、村山和子、森田敏明、森二十男、山田ひろ子、山野芳生、山崎幸雄、山田正樹、湯沢靖子、横田光義、横山トミエ、吉田 護、渡辺茂子、渡辺雅直、渡部信子、渡部文雄、渡辺幸子、渡邊 毅、若林 守

新潟県公安委員会・新潟県警察本部賛助会員



・公安委員会・警察本部

新潟県公安委員会、新潟県警察本部長、総務課、警務課、厚生課、会計課、広報広聴課、新潟県警察学校、装備施設課、監察官室、情報管理課、留置管理課、教養課、地域課、生活安全企画課、生活保安課、少年課、サイバー犯罪対策課、通信指令課、鉄道警察隊、刑事総務課、鑑識課、捜査第一課、機動捜査隊、科学捜査研究所、捜査第二課、捜査第三課、組織犯罪対策第一課、組織犯罪対策第二課、外事課、警備第一課、警備第二課、機動隊、交通企画課、交通機動隊、高速道路交通警察隊、交通規制課、交通指導課、情報通信部、運転免許センター、子供女性安全対策課

・警察署

村上署、胎内署、新発田署、阿賀野署、五泉署、津川署、佐渡東署、佐渡西署、秋葉署、江南署、新潟南署、新潟東署、新潟中央署、新潟西署、西蒲署、燕署、加茂署、三条署、見附署、新潟北署、長岡署、与板署、小千谷署、小出署、南魚沼署、十日町署、柏崎署、上越署、妙高署、糸魚川署

寄附者



有坂康治、イオンリテール㈱、池 淳一、弁護士伊藤秀夫、井口睦子、岩崎治光、市嶋邦夫、石附 昇、伊藤由紀子、植木ひろ子、辯護士氏家信彦、(有)魚沼ロードサービス、弁護士遠藤智子、弁護士大花真人、押見清雄、落合光雄、大平和征、小川花奈、(株)架設工事佐々木組、金子和子、金子一郎、北山桂子、国井嘉樹、(株)元洋、栗山 啓、交通機動隊、(株)コーシン新潟営業所、司法書士小出行雄、弁護士小林 彰、国際ロータリー第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター、甲野勝機、佐々木昌敏、佐藤敏彦、佐藤直美、サントリービバレッジサービス(株)新潟支店、齋藤直義、鈴木重吉、高野・星野法律事務所弁護士高野毅、高橋昌子、ガイドードリンコ(株)中部第一営業部新潟オフィス、第一建設工業(株)、武井慎次、高岡光夫、燕警友会、トナン輸送(株)、遠山知行、弁護士中澤泰二郎、長岡ライオンズクラブ、長岡柏ライオンズクラブ、中澤玲子、内藤シゲ、中曽根豊、成田 貢、中谷俊夫、新潟東倫理法人会、二木 宏、野口祐郁、新潟県安全運転管理者協会、辯護士長谷川 進、藤田美沙、弁護士藤巻元雄、(有)藤田豊商店、古川尚史、星野理香、細金勝治、丸山昌治、コカ・コーライーストジャパン(株)新潟支社、FVイーストジャパン(株)、弁護士宮川貴浩、ミツワ興業(株)、森川重文、山本千鶴、山崎トシエ、山崎堅輔、渡邊トメ、和田武次、(株)和光ペンディング、匿名者(8名)

※誤字・脱字がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

イオン「幸せのイエローレシートキャンペーン」でのご協力をお願い



イオンリテール(株)様では地域社会への貢献の一環として地域で活動するボランティア団体等に助成する「幸せのイエローレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、レシートを店内各所に設置された投函コーナーの当センターボックスに投函していただきますと、レシート金額1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から当センターへ寄贈されます。当センターでは、これを支援活動等の事務用品などに有効活用させていただきますので、皆様ご協力をお願いいたします



にいがた被害者支援センターのボックス番号はNo15番です



イオン新潟南ショッピングセンター投函ボックス
(食品売り場前に設置)

被害者支援自動販売機の設置によるご協力のお願い

にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、貴企業、貴団体の社会貢献活動の一環として清涼飲料の寄付金付自動販売機の新規設置、または切り替えをしていただける事業所・団体を募集しています。設置・切り替えをしていただくことにより、コカコーライーストジャパン㈱グループ様、サントリービバレッジサービス㈱様、ダイドードリンコ㈱様、㈱コーシン様、及び㈱和光ベインディング様より、自動販売機の売り上げの一部を当センターに寄付されるシステムとなっています。ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。（ご連絡はセンター事務局 025-281-2131）

平成28年4月末現在設置ご協力企業・団体様は下記のとおりです。

●コカコーライーストジャパン㈱グループ自販機設置箇所

◆民間事業所等

田中産業㈱、田中運輸機工㈱、㈱草間組、㈱新潟文化自動車学校、土田商店、(有)オービット、(有)大伸通信、(有)瀬戸川工業所、特定医療法人青山信愛会 新潟信愛病院、(有)上越ケミカル、雑誌レジデンス、涌井建設工業㈱、(有)ランドマーク資材センター、(有)光和建装工業、㈱共同建設資材センター、県ロードサービス㈱、ガレージプロセス、新潟大学前駅前駐車場、㈱新潟中央自動車学校、丸克建設㈱、新潟県司法書士会、酒道楽工藤、㈱まつき、萬代電業㈱、㈱リクシルトータルサービス新潟営業所、㈱アルパ建設、(有)ランニング、㈱ハマササービスオリックスレンタカー新潟駅前営業所、㈱上杉興業、新潟県自動車販売店協会、東日本高速道路㈱新潟支社、新潟ガラスリサイクルセンター㈱三条営業所、松本機工㈱新潟工場、㈱萩田換地、㈱サン・メタル、㈱松崎木工場、サップセキュリティ㈱、水原自動車学校

◆警察関係

県警察本部、運転免許センター（新潟、長岡、上越）、交通機動隊、機動隊、警察学校、小千谷署、三条署、新発田署、村上署、胎内署、新潟北署、小出署、南魚沼署、秋葉署、燕署、五泉署、佐渡西署、佐渡東署、新潟中央署、江南署、新潟西署、西蒲署、新潟東署、長岡署、新潟南署、十日町署、柏崎署、上越署、糸魚川署

●サントリービバレッジサービス㈱自動販売機設置箇所

新潟東署、加茂署、五泉署、上越署、見附署、妙高署
胎内署、新潟北署

●ダイドードリンコ㈱自動販売機設置箇所

警察学校、加茂署

●㈱コーシン自動販売機設置箇所

新潟西署

●㈱和光ベインディング自動販売機設置箇所

柏崎署



被害者支援自販機

賛助会員募集・ 寄附金のお願い

当センターの活動は、主に皆様の賛助会費や寄附金に支えられています。皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

年会費 ● 個人賛助会員 / 1,000円 ● 団体・法人賛助会員 / 10,000円
※一口以上何口でもご加入いただけます。

お振込先（郵便振替口座）

- 口座名義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター
- 口座番号：00530-1-84482

税法上の優遇処置 について

当センターへの賛助会費・寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄付優遇処置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除の対象になります。

支援センターだより 第21号 (平成29年3月)

編集・発行：公益社団法人
にいがた被害者支援センター

事務局：〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-3
新潟ユニゾンプラザハート館
TEL・FAX 025-281-2131
<http://www.n-vsc.jp/>